

今年のインフルエンザ治療

1. タミフル(ドライシロップ、カプセル)

2. リレンザ(吸入薬(5歳以上))

3. 漢方薬(麻黄湯など)

4. 今年から使える新しい治療薬

①イナビル(1日1回吸入)

②ラピアクタ(1日1回点滴)

①、②は、1日1回使用すればタミフルかリレンザを5日間使用したのと同じくらいの効果があります。

①は、吸入薬ですので、咳でむせたりする人には不向きかも知れません。10歳以下は1個を吸入して治療終わりです(10歳以上、大人は2回を吸入して終わりです)。

②は、薬が飲めないくらい状態の悪い人に点滴で使います。外来よりも市民病院、大学病院の病棟での使用が多くなるでしょう。当院では用意しておきます。

5. インフルエンザワクチンでの予防

ワクチンで完全に予防することはできませんが、感染のリスクを下げることは大切です。

季節性インフルエンザによる脳症死亡などの多くは、ワクチン接種していなかったという報告もあります。

かぜ症候群の漢方治療

何となく
変

香蘇散(こうそさん)・・・常備薬として
桂枝湯(けいしとう)・・・万年かぜ、妊婦さんに使えます

ノドが
痛い

小柴胡湯加桔梗石膏
(しょうさいこうたかきぎょうせつこう)

鼻水が
出る

葛根湯(かっこんとう)
葛根湯加川キユウ辛夷(かっこんとうかせんきゅうしんい)
小青龍湯(しょうせいりゅうとう)・・・くしゃみ、水鼻、
鼻炎の初期

発熱
冷え

麻黄附子細辛湯(まおうぶしさいしんとう)

発熱
発汗

桂麻各半湯(けいまかくはんとう)・・・赤い顔、かゆい
桂枝湯(けいしとう)・・・虚弱、高齢者

悪寒
高熱

麻黄湯(まおうとう)・・・まだ多少元気あり、インフルエンザ
大青龍湯(だいせいりゅうとう)・・・へろへろ、グッタリ

※桂麻各半湯は桂枝湯と麻黄湯を半分ずつ足したもの

※大青龍湯は麻黄湯+越婢加朮湯(えっぴかじゆつとう) あるいは
桂枝湯+麻杏甘石湯(まきょうかんせきとう)で代用します

お知らせ

●もとす休日診療所

11月12日(金) 9:00-16:00

●小児夜間急病センター

11月3日(水) 19:30-22:30(受付)